



# 小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和4年2月1日 第10号  
小笠原村立小笠原中学校  
校長 小野 満 賢

学校ホームページ

<https://www.ogachu.ogasawara.ed.jp>

変更になりました



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



## 授業に込める思い

副校長 坂本 司

オミクロン株による感染の急拡大が止まりません。かつてないスピードで感染が拡がり、誰もが感染するリスクがあるとされています。学校では、これまで以上に危機感をもちながら、生徒の学びを保障するため、教職員一丸となって、感染症対策と教育活動の両立に力を尽くしています。しかし、感染の脅威により、それ以前と比較すると、教育活動や学校生活も様々な影響を受け、変化がありました。

- ・ 日常的には、健康チェックの実施、マスクの着用、手洗い・うがい、手指の消毒、教室の換気、黙食。
- ・ 授業では、対策を講じてもお飛沫感染の可能性の高い活動（歌唱や吹奏楽、調理実習、接触を伴う運動等）は、感染拡大の状況によっては実施しない。
- ・ 行事では、小中高連合運動会、小笠原村ロードレース大会、各運動部の中体連の大会等、諸行事の中止や実施方法の変更。
- ・ 内地と比較して日数は少なかったものの、臨時休業への対応。

感染対策を講じた「新しい生活様式」から2年余り。一昨年度、臨時休業により新しい1年のスタートである始業式・入学式が延期になった際に、生徒宅全戸に教員が家庭訪問し、新しい教科書や学習課題を届けたことが、随分と前のことのように感じられます。

様々な変化の中でも、昼食の時間と音楽の授業への影響は、特に大きなものがありました。班で会話をしながら食べていた昼食は、全員が黒板を向いたままの黙食となり、昼食時間に聞こえてくるのは放送委員会の昼の放送だけになりました。生徒の歌声や楽器の演奏が校舎内に聞こえてきた音楽の授業は、歌唱と吹奏楽器演奏ができない期間が長く続きました。現在は、マスクを着用しての歌唱と器楽練習をやっと再開できたところです。このような状況下で授業を展開している本校の音楽科教員の思いを紹介します。

今年度卒業する3年生は、自分たちが1年生であった一昨年度の卒業式から、式中での歌唱を行うことができなかつたため、先輩の歌声を聞いたことがないまま自分たちの卒業を迎えることになりました。最後の音楽の授業となるのは、延期され卒業間近に実施することになった音楽発表会に体育館で合奏する全校吹奏楽と、卒業式の式歌「あおぞらに」「上げば尊し」「蛍の光」です。小笠原中学校で音楽を担当し始めてから、卒業生が奏でてきた音楽には、「別れ」と「出会い」が多い島ならではの意味があると感じてきました。「中学校3年間の音楽授業は全て、互いが別れる時に聴く音楽に向かっていくのだ」と。島を離れる時、港で最後に聴くのが「小笠原太鼓」と「蛍の光」のメロディです。別れの時に「さようなら」ではなく、再会を願って「いってらっしゃい」と送り出す島の人々の思いと、卒業式で長年歌われてきた3曲の式歌が繋がります。この学校の卒業のために作曲された「あおぞらに」は、別れの季節に咲く花ビーデと島の情景を歌っています。「上げば尊し」は、この学校で同級生が揃って歌う最後の曲となり、卒業生にとって特別な曲になります。島民に馴染みの深い「蛍の光」は、卒業式退場の直前に全員で歌う、友との別れの曲です。3月は既に暑く感じるほどの陽気となる小笠原ですが、これらの式歌が流れると、名残惜しくも清々しい生徒の表情とともに、卒業式の会場の体育館の中は新たな旅立ちへの爽やかな空気に包まれます。

音楽の授業での1曲1曲が「島の友達とともに歌った歌、演奏した曲」になることを意識して授業を行っています。生徒たちには、歌や演奏が一期一会であることを感じるこの地で、どのような状況になっても人とのかわりを大切にして、一緒に歌い演奏する喜びを感じてほしいと思っています。小笠原は様々な国や地域の人々との交流から生まれた独自の「出会い」の音楽文化ももっています。これからも島で生活する生徒はもちろん、島を旅立つ生徒も将来新たな場所で新たな出会いがあった時、誰とでも音楽で交流できる姿勢をもって卒業してくれたらと願っています。

卒業式まであと2ヵ月足らず。音楽発表会での全校吹奏楽の演奏と、卒業式での式歌の歌唱ができることを心から願うばかりです。そして、楽しい会話が弾む昼食やマスクを必要としない笑顔があふれる学校生活も。

## 第1・2学年 母島中学校との交流授業

### 第1学年

学年主任 高田 奈々

12月10日(金)5校時に母島中学校1年生との第2回目の交流授業を実施しました。タブレット端末のグループビデオ通話機能を用いて、双方の中学校での総合的な学習の時間の取組を発表しました。母島中の生徒が平島移動教室で学んだ外来種や固有種と海の生き物について、小笠原中の生徒が「働く人の話を聞く会」までのキャリア教育を通して学んだことについてプレゼンテーションを行いました。発表後には、生徒全員がクラウド上でお互いの発表へのフィードバックを行いました。



### 第2学年

学級担任 矢代 祥大

11月30日(火)5校時に母島中学校2年生との交流授業を行いました。これまでに学習してきた平和学習「硫黄島について」や「島の戦跡について」の成果を、お互いに発表し合いました。硫黄島島民の生活や、戦争などについて詳しく調べてあり、発表交流を通してさらに学習を深めることができました。今年度から一人一台のタブレット端末を様々な学習で活用していることもあり、プレゼンテーションソフトを使った発表も着実に上達してきています。



## 第3学年 総合発表会

学年主任 宮本 寛信

12月18日(土)5校時に3年生の総合発表会を行いました。3年生にとって最後の総合発表会となる今回は、3年間の集大成として内容を個人でまとめ、プレゼンテーション用のスライドを作りました。また、自分が伝えたいことを、自分の言葉で原稿を見ずに堂々と発表することを目標にしました。個人の成長とクラスとしての成長を改めて感じました。保護者・地域の皆様にも、3年間の学習の積み重ねをお見せできたのではないかと思います。

最後に、感染拡大の状況により延期になった修学旅行でしたが、準備や感染対策をはじめ、無事に修学旅行に行くことができたことは、たくさんの方の支えがあったからこそであり、今回の発表も行うことができました。皆様のご理解・ご協力に改めて感謝申し上げます。



## 百人一首大会

国語科 野内 由紀子

1月11日(火)に校内百人一首大会を行いました。感染症対策を行いながら、源平戦と散らし取りの2種類で勝敗を競いました。1首でも多く取るために、自分の名前や好きなものと結び付けて歌を覚える姿が印象的でした。他学年の生徒との試合もよい刺激になったようです。

生徒の感想用紙には「好きな札が取れて嬉しかった。」「3年生は一字決まりの札を早く取っていたのがすごいと思った。」「チームの人たちと楽しく百人一首ができたのでよかった。」「練習の時よりも多く取れて嬉しかった。」「1・2年生にも強い人がたくさんいてすごいと思った。」「1・2年生と百人一首を通してコミュニケーションがとれたのでよかった。」と書かれていました。百人一首(和歌)は日本の大切な文化の一つです。百人一首を通して、昔の人のものの見方を知ってもらえたら嬉しいです。

【団体の部(学年対抗)】優勝 第3学年

【個人の部】

1位	( 年 )	2位	( 年 )
3位	( 年 )	4位	( 年 )
5位	( 年 )		(敬称略)





# 12分間走記録会

保健体育科 麻生 直人

保健体育の授業では、2学期の終わりからロードレース大会に向けて長距離走に取り組んできました。人によっては「辛い」「やりたくない」と思ってしまう長距離走の授業に、皆で声を出し合って頑張ろうとしている生徒たちの姿を見ていて、とても微笑ましく、清々しい気持ちでした。

ロードレース大会は、残念ながら新型コロナウイルス感染症の感染拡大のためにやむなく中止となりましたが、授業では12分間でどれだけ多くの距離を走れるかという「12分間走」を全学年で行い、男女それぞれ上位10名を表彰しました。生徒たちの一生懸命に走る姿は、とても感動的で「みんなで頑張ることの素晴らしさ」を改めて感じることができました。以下、栄えある上位10名を紹介します。

## 【男子の部】 (敬称略)

1位	(年)	3,280m
2位	(年)	3,270m
3位	(年)	3,220m
4位	(年)	3,090m
5位	(年)	2,990m
6位	(年)	2,980m
7位	(年)	2,970m
8位	(年)	2,940m
9位	(年)	2,930m
10位	(年)	2,920m

## 【女子の部】 (敬称略)

1位	(年)	2,560m
2位	(年)	2,540m
3位	(年)	2,540m
4位	(年)	2,460m
5位	(年)	2,380m
6位	(年)	2,350m
7位	(年)	2,330m
8位	(年)	2,330m
9位	(年)	2,320m
10位	(年)	2,190m



# 作品展示

文化行事委員会 湯本 美樹

1月25日(火)から29日(土)にかけて、今年度の授業で制作した生徒作品の展示を行いました。図書室と廊下を中心に、生徒作品がたくさん並びました。各学年で鑑賞する時間を設けましたが、生徒は熱心に作品を鑑賞していました。今年度初めて行う取組として、コンクール形式で投票を行い、各部門の最優秀作品を表彰します。各教科各学年でどんな作品を制作しているのかを知るきっかけにもなりましたし、先輩や後輩の作品を見て新たな面を発見することもできました。こうして一同に作品を並べて思うことは、やはり中学生の発想は素晴らしいということです。来年度自分が制作する時には、こんな作品を作りたいなあとイメージしておけると良いと思います。次の年の作品展までに、また自分の技術を上達させ、素敵な作品を作ってほしいと思います。



## 「美術科からのお知らせ」

夏休みの課題として取り組んだ1・2年生の「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」の作品展示が、2月8日(火)～13日(日)福祉センター、2月18日(金)～22日(火)母島船客待合所にて展示されます。ぜひご高覧ください。

## 赤い羽根共同募金

生徒会福祉委員会担当 佐々木 若葉



12月13日(月)から17日(金)まで、赤い羽根共同募金活動を行いました。11月下旬に福祉委員会の生徒が小笠原村社会福祉協議会に伺って募金事業の概要について伺い、募金活動の準備を進めてきました。お陰様で、12月22日(月)には2,494円を社会福祉協議会へお届けすることができました。皆様のご協力ありがとうございました。

## 生徒会長サミット

生徒会役員担当 矢代 祥大

12月27日(月)に、東京都中学校特別活動研究会が主催する「生徒会長サミット」が開催され、本校の生徒会役員会も参加しました。「生徒会長サミット」とは、都内の40校の生徒会が参加し、お互いの活動について報告・発表する会です。今年度はオンライン開催ということもあり、小笠原からも参加することができました。参加校のうち2校が代表して全体発表を行い、その後分科会に分かれて、各校の活動報告や質疑応答を行いました。全体発表をした中学校では、生徒会が主体となって、いじめ防止の取組を行ったり、SDGsを踏まえて企業と連携した活動(古着の回収)を行ったりしていることがわかりました。分科会では、小笠原中学校からの報告に、「PBC(ペットボトルキャップ)はどうやったらそんなに集められるのですか?」「海洋センサーボランティアって何ですか?」という質問を受けていました。

普段なかなか知ることのできない他校の活動を知り、生徒会活動の今後の可能性に気付くとともに、普段からあいさつができていた小笠原中学校の良さやPBC回収に多くの協力をいただいていることを再確認することができました。今回の経験を経て、生徒会の活動がより活発になることを期待しています。



## 2月の行事予定

1日(火) 安全指導 自転車安全点検 落語体験 生活アンケート 職員会議	14日(月) 学校朝礼 球技大会練習
2日(水) 食育講話 校内研修	15日(火) 部活動中止(24日まで)
3日(木) 新入生説明会 SC勤務	16日(水) 職員会議
4日(金) お弁当の日 球技大会説明	19日(土) 数学検定
7日(月) 学校朝礼 球技大会練習	20日(日) 英語検定(2次)
8日(火) テスト計画 小中高教科交流会 小中高連合運動会合同職員会議	21日(月) 学校朝礼 SC勤務 都立高校一次・分割前期募集学力検査
9日(水) 職員会議	22日(火) 学年末考査1日目(社・国・美)
10日(木) 球技大会練習 SC勤務 母島移動教室保護者説明会(午後4時)	23日(水) 天皇誕生日
11日(金) 建国記念の日 道徳授業地区公開講座・意見交換会	24日(木) 学年末考査2日目(英・理・保体) SC勤務
13日(日) 漢字検定	25日(金) 学年末考査3日目(数・技家・音)
	28日(月) 学校朝礼 各種委員会・中央委員会

### 「道徳授業地区公開講座・意見交換会のお知らせ」

2月11日(金)建国記念の日に、道徳授業地区公開講座を開催します。道徳授業は午後2時30分～3時20分、意見交換会は午後3時35分～4時20分です。意見交換会では、保護者・地域の皆様、生徒、教員で当日の授業や道徳教育などについて意見を交換します。ぜひご参加ください。